

一般質問(要旨)

「放課後等デイサービス」に向けての取り組みは障害児の居場所の拡充をはかり放課後活動の充実に取り組む

田村けい子議員(公明) 児童福祉法の改正で「放課後等デイサービス」が平成二十四年四月から事業開始されるが、障害児の放課後活動の充実のためのサービスを県内でどのように推進していくのか。



放課後子ども教室の様子(大子養護学校)

保健福祉部長 制度の円滑な実施に向け多くの事業者の参加を促すなど、障害児の放課後活動の充実に取り組む。

議員 HTLV-1*の主な感染経路は、母乳を介した母子感染で、根本的な治療法がないため、感染予防策が重要とされている。全市町村で妊婦検診に抗体検査を追加することとなったが、母子感染予防策をさらに進めるための方針を伺う。

保健福祉部長 正しい知識の普及や保健指導・カウンセリング体制強化に努め、今後は対策協議会を設置し、母子感染対策のさらなる充実に努めていく。

圏央道開通を契機とした地域振興策は新たな産業拠点の形成などにより活性化を図りたい

飯田智男議員(自民) 圏央道沿線市町が検討を進めている、インターチェンジ周辺地域の開発を支援するなど、圏央道開通を契機とした地域振興策にどう取り組んでいくのか。

企画部長 開発構想の実現を図るため、関係部局と連携し、様々な課題解決に向けた検討などの支援とともに、企業誘致などを

積極的に推進し、新たな産業拠点の形成や交流人口の拡大による沿線地域の活性化を図りたい。

議員 安定した農家経営を可能とする契約栽培を推進するなど、県西地域における農産物の産地育成にどう取り組んでいくのか。



圏央道(仮称)水海道IC 予定地周辺

農林水産部長 来年度から、農業者と加工業者などを結びつけるコーディネーターを配置する

シビックプライドによる地域づくりへの支援は新事業の創設や人材派遣により積極的に行う

石田進議員(自民) 茨城を元気にする切り札として、地域への誇りや愛着をブランドにまで高めるシビックプライドによる地域づくりが重要である。県職員などの人材派遣を含め、どのように支援するのか。

知事 平成二十三年度から新しい公共支援事業を創設し、引き続き地域の取り組みが数多く生まれるように支援していく。市町村が求める人材の派遣は県政出前講座やアドバイザー派遣制度の活用などにより積極的に進めていく。



シビックプライド(地域への誇り)が茨城を元気にする

議員 自殺者三万人超の現状を打破するため、県民の不安に対する駆け込みなど、契約栽培の一層の推進に努めていく。また、効果的な畑地盤整備や、大規模産地の利点を活かした販路拡大に努める。(ほかに、常総・八千代の道路整備、不法投棄対策なども質問)

ウエルカム日野自動車の展開は要望を伺い、迅速、丁寧に対応する

森田悦男議員(自民) 拠点工場の本県移転を決断した日野自動車に感謝と歓迎の意を垂れ幕や県情報の提供など目に見える形で表すことが必要だが、どのように展開していくのか。

知事 歓迎の思いを示すうえで同社の生産や従業員の居住に適合した環境づくりを進めることが重要。要望へ迅速、丁寧に対応

し、本県に来てよかったと言われるように対応していきたい。

議員 二元代表制では是々非々の議論が活発にされるべきと考えるが、首長と議会の役割や関係性をどう捉え、議会に臨むのか。

知事 執行機関の首長と意思決定・監視を担う議会が緊張関係を保ち切磋琢磨して県政課題に取り組むことが重要。政策形成



Table with 2 columns: 月日 (Date) and 議事予定 (Agenda). It lists the schedule for the 23rd Ordinary Session of the Ibaraki Prefectural Assembly, starting on June 6th and ending on June 16th.

- List of questioners (質問者) including names and their respective political parties, such as 荻津 和良 (Ibaraki Self-Democratic Party) and 田村けい子 (Komei Party).

※【HTLV-1】…成人T細胞白血病やHTLV-1関連脊髄症(せきずいしょう)を引き起こす原因ウイルス。